

(令和3年2月) 第6期霧島市障害福祉計画及び第2期霧島市障がい児福祉計画(案)

お寄せいただいたご意見の概要と市の考え方について

番号	該当頁	ご意見	意見に対する市の考え方
1	P23	(5) 就労定着支援事業を利用して一般就労した利用者の割合 「している」という表現が正しいのではないかな?	計画を修正しました。
	P26	① 居宅介護 入院・入所からの地域移行をする上で、居宅介護の見込み量は現状程度の推移では足りないのではないかな。 また、令和元年度から令和2年度に実績が減った原因は何か?相談支援をしているうえで対応できる居宅介護事業所がなく、利用者が仕方なく希望する時間を減らしているケースがある。	令和2年度が減った原因としては、コロナウイルス感染症予防のため利用が減ったものと考えられます。 令和3年度からの見込みは、伸び率ではさらに減ってしまう見込みとなるため、平成30年度、平成31年度の実績も踏まえ、平成30年度から令和2年度の平均値で推移するものとしてあります。
	P34	① 自立生活援助 一人暮らしへの移行を希望している方からの相談は多い印象があるので、自立生活援助の見込み量は少ないのではないかな?	平成31年度から始まった事業である。周りに支援者はいないが、ほぼ自立ができている人で居宅介護等までは必要としない人の見守りのみのサービスであり、一人暮らしでも他のサービスを利用していれば見守りも含まれるものと考えます。そのため利用実績に基づき微増としてあります。
	P35	令和2年度で施設入所者数の実績は減っているが、令和3年度からの見込みで増やすのはなぜかな?地域移行や入所者の削減をするのであれば増やすのはなぜかな?	平成30年度、平成31年度の実績も踏まえ、平成30年度から令和2年度の平均値とし、令和3年度からゆるやかに推移するものとしていました。伸び率を考慮して令和2年度からゆるやかに推移するものとし、変更いたしました。 令和3年度150人、令和4年度145人、令和5年度140人
	P44	手話奉仕員養成研修の受講者の確保をどのようにされるかな?	大学や専門学校との連携を進めるなど広報を強化して参ります。 また、実績の数字に誤りがございました。平成30年度16人、令和元年度12人、令和2年度16人でした。訂正しお詫び申し上げます。

	全体	<p>全体を通して見込み量は書かれているが、見込み量を達成するための具体的な方策がわからない。</p>	<p>各事業について見込み量は利用実績を基に伸び率、福祉に関するアンケートの利用状況、利用意向を勘案し作成しています。見込み量のサービス提供を確保できるよう目標として定めた数字であります。具体的な方策については、自立支援協議会等において検討して参ります。</p>
2	P48, P52	<p>52 ページでの保育所等訪問の利用見込みが令和5年度は350人となっている。</p> <p>一方で、48 ページの保育所等訪問事業所の設置は4箇所を見込まれているが、4箇所では350人の保育所等訪問支援をできるのか。</p> <p>例えば、4箇所に各3名の訪問員がいたとしても、一人当たりの抱える人数は30名近くになる。</p> <p>利用児一人あたり、だいたい2日のサービス提供で受給者証が出ている為、350人のサービス提供月は月700日となる。月700日の訪問支援を4箇所ですべての質のサービスを提供できるのかが疑問です。</p>	<p>ご指摘の通り保育所等訪問事業所の箇所数、訪問員等を考慮し、令和3年度の利用人数90人、利用日数180日へ、令和4年度は95人、190日へ令和5年度は100人、200日へ変更いたしました。</p>
	P51 P52 P54	<p>1 障がい児支援サービスの事業量見込み</p> <p>児童発達支援は、月の利用人数が、令和5年度においては2年度より181人多くなっている。</p> <p>保育所等訪問支援は、同じく264人多くなっている。</p> <p>それに対し、相談支援は、91人しか伸びていないが、児童発達支援や、保育所等訪問支援の利用人数が多くなるという事は、計画相談もそれなりに増えると思われるが、計画相談が91人しか伸びていない根拠が何か知りたいです。</p>	<p>それぞれ事業の伸び率をもとに見込みを出しています。</p> <p>各事業の利用者は毎月利用しますが、計画相談は毎月計画を立てるわけではないため、利用者の増は同じにはなりません。以下の通り、見直し変更いたしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援については、巡回相談支援事業による利用者の抑制を考慮し、見直ししました。 <p>令和3年度の利用人数540人、利用日数2700日へ、令和4年度は570人、2850日へ、令和5年度600人、3000日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育所等訪問支援については、前の意見での回答のとおり変更いたしました。
3	P24-25	<p>地域の社会資源を活用し、不足しているなら作り上げられるよう連携やネット</p>	<p>ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。</p>

		ワークを強化してほしい。多職種、専門職のつながりは、とても大切だから。	
	P36	障がい者の計画利用者数は実数？少なく感じた。障がい児の計画利用者数の表記が見つけられなかった。法的に不用であるかもしれないが。	障がい者の計画利用者数は月の人数です。障がい児の計画利用者数はP52に掲載してあります。
	P.41	盲ろう者向け通訳・介助は県事業なので周知できるとありがたい。対象者は複数いるが介助員養成が充分できていないのが実状。利用に結びついていない。	盲ろう者向け通訳・介助は県事業なので文言から省き、修正します。
4	P.41	コミュニケーション支援事業 手話通訳者設置事業の2人はいいのですが、支所にタブレット配置をして、やりとりができるようにして欲しい。地域生活支援事業で補助対象となっているはずなので。	ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。